

大久保区地車新調委員会だより

発行:大久保区地車新調委員会 第2号

大久保中1丁目2-16 (大久保区公民館) TEL:072-452-1606



臨時総会が開催されました。

朝の空気に初秋の気配が感じられるこの頃、大久保区の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、先月の新調委員会だよりでもお知らせした通り、八月十一日(日)午前十時より、大久保区民ホールにて臨時総会が開催されました。臨時総会には七十名が出席し、大久保区の新調地車を製作する工務店の選定が行われました。今回の臨時総会での承認審議の結果、大久保区新調地車の製作工務店を次の通り選定いたしました。

工務店名

有限会社植山工務店

所在地

岸和田市南上町二丁目三

製作工務店の選定過程について

新調地車の製作工務店の選定については、これまで製

作部で熟慮を重ね、植山工務店を製作工務店として選定いたしました。

その後、七月十二日(金)に開催された三部会において各部会の合意を得て、七月二十日(土)に開催された大久保区地車保存会を経て、臨時総会での提案に至りました。



製作工務店の選定理由について

植山工務店を製作工務店として選んだ理由は、大きく分けて二つあります。

一つは、工務店としての技

術力と信頼性です。植山工務店は、植山義正師が設立した工務店であり、義正師が初めて棟梁として手掛けたのが銘地車として名高い、貝塚市東町地車です。これが出世地車となり、地車大工として揺るぎない地位を築きました。

新調地車の製作に関しては、先代の良雄師から現在に至るまでに、五〇台以上の実績があり、その技術力や財務状況についても疑いのないものと判断いたしました。

そしてもう一つは、大久保区へのこれまでの多大な貢献と、良好な関係性です。大久保区の地車に対しては、昭和三〇年代の大修理が、義正師の手によって行われ、昭和六十一年には、二代目良雄師の手により大修理が行われました。その後、二度にわたる主屋根の破損など、大きな事故もありましたが、良雄師をはじめとする植山工務店の職人の皆様の高い技術力により、現地車を維持するこ

とができております。

さらに、令和四年には、三代目佐野和久師の尽力により、文化庁の補助金を活用した解体修理を行い、美しい地車に蘇りました。

このような、過去半世紀以上にわたる大久保区への貢献や良好な関係及び、工務店としての技術力と信頼性を鑑み、大久保区の新調地車製作をお願いできる工務店は植山工務店しかないと判断いたしました。

今後の契約については、大久保区地車保存会で別途承認手続きを行ってまいりますので、よろしく願います。

